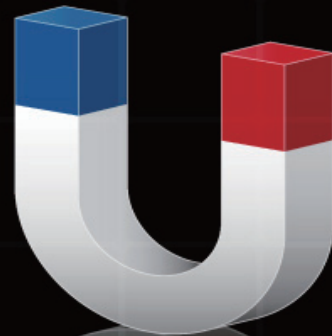


Composite Material,
In the World

ONLY

1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジウム系等方性コンパウンド
- ・ネオジウム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

今回は50号であり、年に2号ずつ発行してきたので四半世紀続いたことになる。ひと区切りということで、初期の編集委員長でもあった原田 CEO に発行初期を振り返った記念寄稿をお願いした。BM News の変遷が良く分かる内容であり一読して頂きたい。

BM 素心は芳賀会長をお願いした。「『絵に描いた餅』の価値」ということで、絵を描く人を評価し、皆で大切な絵を価値あるものにしたと提言している。一読して頂きたい。

BM レポートには、5月の技術例会の講演内容を講師の許可を得て再掲載させて頂いた。「高性能磁石材料と応用の最新動向」と題してご講演頂き、成功裡に終了した内容である。大変貴重なデータが詰まっているので是非参考にして頂きたい。

前期の寺子屋 BM 塾では「磁石・磁性材料の解析技術を理解しよう」と題して各種磁気測定技術、組織観察の基礎技術、磁界解析技術の基礎についてそれぞれ大変分かり易い講義をして頂いた。参加者が大変多く、活発な質問が飛び交い大変有意義な会であった。講師の皆様に感謝申し上げる。

軟磁性材料研究会も第3回が済んだ。大変興味深い技術開発の内容を詳しく聴く機会ができ、順調に進んでいる。また、タイミング良く IEC 規格検討の場としても有効に動ける会になりそうであり今後の活動が楽しみである。

希土類の価格が底打ちとなったようである。安定した価格になり安心して利用できるようになることが望まれる。8月24日に行われた「NS会」で温故知新一希土類産業黎明期の人たちと題して元(株)三徳の小西功氏の講和があった。そこでは、Ce, La の物性をさらに研究・理解してその活用を図り、牛の一頭買いならぬ希土類17元素をバランス良く使用するための新しい材料開発を進めることが提言された。高級カメラ、カラーTV、パイプライン鋼、永久磁石、二次電池などが希土類メーカーとユーザのコラボレーションで世界一になったものの全て昭和の時代だった。平成になって国内の希土類産業は衰退してしまった。大きな発展もない。高度技術の製品開発を目標として頑張りたいとまとめられた。

機関紙編集委員長

大森 賢次